

ID No.	250
研究課題名	膜型 MMP (MT1-MMP) とその周辺分子によるがん悪性化の分子機構の解明
研究代表者	越川 直彦 (神奈川県立がんセンター臨床研究所・部長)
研究組織	
受入教員	尾山 大明 (東京大学医科学研究所・准教授)
研究分担者	星野 大輔 (神奈川県立がんセンター・主任研究員)
	峰岸 知子 (神奈川県立がんセンター・研究員)
	宮城 洋平 (神奈川県立がんセンター・部長)
	秦 裕子 (東京大学医科学研究所・技術専門員)
研究報告書	
	<p>MT1-MMP 複合体より同定した基質である Protein-X の MT1-MMP による切断部位の同定を行うために、内在性に MT1-MMP を発現する A431 細胞に C-FLAG 標識した Protein-X を発現させ、抗 FLAG 抗体を用いて C 末端のプロセシング断片を精製した。この Protein-X の C 末端断片は癌悪性化進展を促進する可能性を細胞生物学的な解析で見出しているため、この断片を特異的に認識する抗体作製を行うために、医科研に整備されている nano-LC-MS/MS を用いて Protein-X 断片の N 末端のアミノ酸配列の同定を行った。現在、その解析結果を Mascot によるネオエピトープ認識抗体を作製して、抗体によるがん悪性化進展の抑制を検討することで、次世代のがん分子標的治療の治療標的となりうる可能性を検証する。</p>